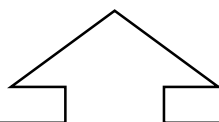


第6学年 英語科学習指導案

令和5年6月13日(火) 第5校時
 南国市立日章小学校
 6年 児童数16名
 場所 6年教室

- 1 育成を目指す資質・能力
 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話す。
- 2 単元名 Where do you want to go in Nissho?
 (Junior Sunshine 6 Lesson 3 Where do you want to go?)
- 3 単元の目標
 留学生に、日章地区の良さを知ってもらうために、日章地区の中の相手が行きたい場所について、その場所でできることや特徴など、相手に伝えようとする内容を整理した上で、おすすめの場所に自分の考えや気持ちなどを加えて話すことができる。



【「総合的な学習の時間」との関連】

第6学年テーマ「これからの日章を考えよう」

(副題) 日章の幸福論①日章地区の良さを見つけよう

第6学年の総合的な学習の時間では、教育目標「つながる ひろがる Happy 日章」を自分たちで推進していくことを目的にし、地域学習を進めている。1学期には、新しく日章小学校に赴任した先生に、日章地区の良さや自慢を紹介するという課題を設定した。インタビュー活動などで情報収集をしたうえで、相手に伝えるための適切な発表方法を考え、新しく赴任した先生という相手意識をもって発表に臨む。

紹介後は、新たに課題設定し、総合的な学習の時間に学んだことや紹介できたことを、より多くの人へ届けられる方法として英語学習へとつなげることで、児童の地域への愛着や、主体的に活動する姿など、総合的な学習の時間に育成した資質・能力がさらに向上すると考えられる。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 「発表」	<知識> 場所に関する語句や You can see/eat ～. 等の表現について理解している。 <技能> 地域紹介について、場所に関する語句や You can see/eat ～. 等を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。	留学生に、日章地区の良さを知ってもらうために、その場所でできることや特徴などについて、相手に伝わるように、自分の考えや気持ちなどを加えて話している。	留学生に、日章地区の良さを知ってもらうために、その場所でできることや特徴などについて、相手に伝わるように、自分の考えや気持ちなどを加えて話そうとしている。

5 単元設定の趣旨

本単元は、おすすめの場所とその場所の魅力について紹介する単元である。今年度の第6学年の総合的な学習の時間では、地域の良さを調べて発信するという活動を進めてきた。そこで、総合的な学習の時間で培ってきた地域の良さに気づいて、発信したいという思いをもったり、発信する表現方法を考えたりする力を英語学習へとつなげ、英語を使って地域の良さを発信していくという、カリキュラム・マネジメントの視点で本単元を構成した。地域の中で相手の行きたい場所を聞き、その場所のできることや特徴を伝えることで、地域学習が生かされた英語活動になると考えられる。そこで、単元ゴールを「国際交流で関わる留学生に、日章地区の良さを知ってもらうために、日章地区のおすすめの場所を紹介する。」と設定した。

本学級の児童は、英語科では、第5学年“Lesson 5 Where is your treasure?”において、実際の地域の地図を作成して、その地図上で自分の宝物の場所まで案内したり宝物の紹介をしたりする学習を行ってきた。また、“Lesson 9 I love my town.”では、高知に留学している外国の方に、“It’s famous for ～.”などの表現を用いて、高知県の魅力を伝える学習を行ってきた。児童はこれまでの学習で、地域について伝える表現を学習してきたが、既習表現を活用して内容を膨らませたり、自分の思いを伝える表現を使って会話を広げたりすることに課題が見られる。本単元では、それらの学習で得た地域に関する英語表現と第6学年で進めている総合的な学習の時間での地域学習の関連を図り、今度は、自分たちにとって一番身近な地域の良さを発信できるようにしていく。その際、既習表現や気持ちを伝える表現を使うことで、地域の良さをくわしく伝えられることに気づかせていきたい。

単元の学習で中心となる言語材料は I want to go to ～. と You can see ～. である。これらの言語材料を用いて、相手や状況を変えながら、言語活動を繰り返し行いたい。自分が行きたい場所について伝え合ったり、留学生に知ってもらいたい地域の魅力をくわしく伝えるための表現を知ったりし、単元の終末には、留学生に向けて地域のことを発信できるように単元を構成していく。また、発表する相手によって、発表の出だしが変わったり、質問を交えたりした方がより伝わりやすいということに気づく場面を設定することで、伝えたい相手を意識した、コミュニケーションにおける見方・考え方が働いた発表を行えると考えられる。それらのやり取りや発表の様子を毎時間動画で撮影していき、児童自身が変化を振り返られるようにしていきたい。単元の始めから終わりまでに言える表現が増えていることや、自分の思いが加わっていくことなど、変化していく様子を見ることが確認できる仕組みをつくることで、単元を通しての自身の成長を実感することができると思われる。

6 小・中学校における学びのつながり

学年	領域	CAN-DO のつながり	単元（題材とのつながり）
5年	話すこと [発表]	ウ) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	宝物を紹介しよう (Lesson 5 “Where is your treasure?”) 高知の魅力を発信しよう (Lesson 9 “I love my town.”)
6年	話すこと [発表]	ウ) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	
中2年	話すこと [発表]	イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	日本の文化を伝えよう (Program 6 “Live Life in True Harmony”)
中3年	話すこと [発表]	イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	高知の魅力を発信しよう (Our Project 7, 8)

7 単元の指導計画と評価計画（6時間）

※【ICT活用（使用端末）】

時	目標	主となる学習活動	評価規準		
			知技	思判表	態度
1	単元ゴールのイメージをもつとともに、行きたい国を伝え合うことができる。	<p>○Teacher's Talk 「行きたい国」</p> <p>○単元のゴールを共有する。</p> <p>○行きたい国とその理由を伝え合う。【国旗掲示（電子黒板）】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: Where do you want to go? B: I want to go to ~. A: Why? B: Because ~.</p> </div> <p>○やり取りの様子を友達と撮影し合う。【動画撮影（児童用クロムブック）】</p>			
2	地域の中で行きたい場所についてたずねたり答えたりすることができる。	<p>○Small Talk 「行きたい国」</p> <p>○Teacher's Talk 「日章地区の中で行きたい場所」</p> <p>○地域の中で行きたい場所とその理由を伝え合う。【地域の写真掲示（児童用クロムブック）】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: We have many good places in Nissho. This is ~. Where do you want to go? B: I want to go to ~. A: Why? B: Because ~.</p> </div> <p>○やり取りの様子を友達と撮影し合う。【動画撮影（児童用クロムブック）】</p>			
3・4	友達に、地域のおすすめの場所のできることや特徴を伝えることができる。	<p>○Small Talk 「行きたい場所」</p> <p>○Teacher's Talk 「おすすめのできる場所」</p> <p>○地域のおすすめの場所について、その場所のできることや特徴を伝える。【地域の写真（児童用クロムブック）】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: We have many good places in Nissho. This is ~. You can see/eat/buy ~. It's ~.</p> </div> <p>○発表の内容を自分で撮影する。【動画撮影（児童用クロムブック）】</p>			
5（本時）	日章地区のことをあまり知らない先生に、日章地区の良いところを知ってもらうために、地域のおすすめの場所のできることや特徴、自分の思いなどを伝えることができる。	<p>○Small Talk 「おすすめのできる場所」</p> <p>○地域のおすすめの場所について、その場所のできることを伝える表現に加えて、その場所の特徴を表す表現を用いて、伝える。【地域の写真（児童用クロムブック）】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: We have many good places in Nissho. This is ~. You can see/eat/buy ~. It's ~. Do you know ~? / Do you like ~? I like ~. Thank you.</p> </div> <p>○発表の内容を自分で撮影する。【動画撮影（児童用クロムブック）】</p>			

6	<p>「国際交流」の時間に来校する留学生に、地域のおすすめの場所のできることや特徴、自分の思いなどを、整理して伝えることができる。</p>	<p>○Small Talk 「おすすめ場所」 ○地域のおすすめの場所について、できること、特徴、自分の思いなどを、内容を整理して伝える。【地域の写真（児童用クロムブック）】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A: We have many good places in Nissho. This is ～. My favorite place is～. You can see/eat/buy ～. It's ～. Do you know ～? / Do you like ～? I like ～. Please go there. Thank you.</p> </div> <p>○発表の内容を自分で撮影する。【動画撮影（児童用クロムブック）】</p>	発	発	発
<p>後日、「国際交流」の時間に来校した留学生に、日章地区の良さを知ってもらうために、おすすめのできることや特徴、自分の思いなどを加えて紹介する。</p>					

8 本時の指導（5/6時間）

(1) 本時の目標

日章地区のことをあまり知らない先生に、日章地区の良いところを知ってもらうために、地域のおすすめの場所のできることや特徴、自分の思いなどを伝えることができる。

(2) 本時の評価規準

日章地区のことをあまり知らない先生に、日章地区の良いところを知ってもらうために、地域のおすすめの場所のできることや特徴、自分の思いなどを伝えようとしている。

※本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。

(3) 展開

時間	学習活動	○指導上の留意点 ■本時の評価規準【方法】
3分	<p>1 挨拶をする。 2 Small Talk 「おすすめ場所」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: We have many good places in Nissho. This is Ige Shrine. You can see <i>hokora</i>. It's old. B: It's nice. I want to go there.</p> </div>	
5分	<p>3 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>日章地区のことをあまり知らない先生が、おすすめ場所に行きたくなるような発表をしよう。</p> </div> <p>4 本時の学習の観点を知る。 ○友達の動画を見る。</p> <p>○課題に向かって、付け加えたい表現を考える。</p>	<p>○単元の目的や場面、状況の再確認を行い、児童と本時の学習課題を確認する。</p> <p>○前時に撮影したモデルとなる児童の動画を見せ、前時までどんな表現で紹介していたか確認し、本時はどのような表現があれば学習課題を達成することができるか考えを共有する。</p> <p><観点> ① おすすめの場所のできることや特徴があった。 ② その場所に対する自分の思いが伝わった。 ③ 発表を聞いてその場所に行きたくなった。</p>

<p>31分</p>	<p>5 日章地区のことを知ってもらうために、観点を意識して先生方に伝える。</p> <p>① 先生方に伝える。 ② 中間指導</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: Hello. We have many good places in Nissho. This is Ige Shrine. You can see <i>hokora</i>. It's old. Ige Shrine is the god of food. You can see tree. It's big. B: It's nice. I want to go there. A: Thank you.</p> </div> <p>③ 課題に向かって、付け加えたい表現を考える。 ④ 再度、先生方に伝える。 ⑤ 中間指導 ⑥ 動画を撮影する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>B 基準の児童: Hello. We have many good places in Nissho. This is Ige Shrine. Do you know Ige Shrine? You can see <i>hokora</i>. It's old. Ige Shrine is the god of food. Please go there. Thank you.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A 基準の児童: Hello. We have many good places in Nissho. This is Ige Shrine. Do you know Ige Shrine? You can see <i>hokora</i>. It's old. Ige Shrine is the god of food. My Osusume point is the big tree. You can see Ukemochii no kami. It's an important place for me. Please go there.</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>中間指導 再構築を促すための共有</p> <p>○何をどのように伝えようとしたのか、また、なぜその場所やその内容について伝えなかったのか話し合う。 ○先生にどんな評価をもらったのか共有する。 ○言いたかったが言えなかった言葉や表現を確かめる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>中間指導 再構築を促すための共有</p> <p>○1回目の発表と2回目の発表で、意識して変化させたところを聞く。 ○質問や自分の思いを加えるなど、さらに発話を広げようとしている児童を取り上げる。</p> <p>■日章地区のことをあまり知らない先生に、地域のおすすめの場所のできることや特徴、自分の思いなどを伝えようとしている。(形成的評価)【行動観察・動画、振り返りシート】</p> </div>
<p>6分</p>	<p>6 振り返りをする。 7 挨拶をする。</p>	<p>○地域のことをよく知らない人に、地域の良さを伝える際に重要だと思った点について振り返らせる。</p> <p>C: 地域のことをあまり知らない人には、名前だけではなく、できることやその場所にあるものの特徴などを言うと、より伝わりやすくなると思いました。</p> <p>C: 地域のことをあまり知らない人には、Do you know?などを使って、知っているかどうかを確かめることも大切だと思いました。聞いた後は、自分の気持ちも伝えると、相手により地域のことを分かってもらえました。</p>

9 板書計画

⑨ 日章地区のことをあまり知らない先生が、おすすめの場所に行きたく
なるような発表をしよう。

sunny
Tuesday,
June 13th

単元ゴール

留学生に日章地区の良いところを知ってもらうために、地域のおすすめの場所のできることや特ちょうを発表しよう。

We have many good places in Nissho.

This is~.

You can~.

see
(カード)

touch
(カード)

buy
(カード)

meet
(カード)

It's~.

もっとくわしく
伝えるために

Do you know○○? Do you like○○? -I like○○.
(もっと多くの表現が出れば板書する。)